

第4期 中間決算概要資料

2008年度中間期（2008年9月期）

あなたに、ベスト・ウェイ。



1. 民営化の趣旨に沿って着実に事業を実施しています。

▶ 貸付料を着実に支払いました。

昨年度中間期実績2,665億円 2,711億円

貸付料は協定に基づき機構*に支払う道路資産賃借料のことです。

これは高速道路の債務の返済に充てられます。 *独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

▶ 通行料金の割引を着実に実施しました。

昨年度中間期と比べ、割引実績838億円 933億円

多くのお客様に割引サービスをご利用いただいています。

ETC時間帯割引、大口・多頻度割引、社会実験による割引、ETCマイルージ割引など

▶ 高速道路の建設を着実に進めています。

北関東道8.9kmが開通 供用延長は3,455km

当資料は、億円未満を切り捨てて表示しています。

2. 道路事業は、構造上上期に『利益』が出ます。

<単体ベース>

料金収入は約3,500億円を計上

◇ ETCによる時間帯割引のご利用が増加し、より多くのお客さまに割引サービスをご利用いただく結果となりました。

平成20年度上半期の交通量は、平成19年度上半期と比較して、2.9%の減(台キロベース)となっています。さらに割引を多くご利用いただいたことで、料金収入等は交通量の減を上回る4.8%の減となりました。

道路資産賃借料と管理費用計約3,450億円を計上

◇ 機構に昨年同期比45億円増の2,711億円の道路資産賃借料を支払いました。これは高速道路の債務の返済に充てられます。

道路事業は、通期では利益を見込まない計画となっていますが、その性格上^(P8参照)、上期に『利益』が出て通期では収支が見合う構造であり、今中間期としては営業利益76億円を計上しています。

機構:独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

(単位:億円)

	2007年度中間	2008年度中間
料金収入等	3,711	3,533
道路資産賃借料	2,665	2,711
管理費用	731	745
営業利益	314	76

料金収入等の実績には、その他の売上高が含まれています。

3. 道路事業の連結営業利益は単体とほぼ同程度です。

【道路事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

3,901億円〔3,960億円〕

3,936億円〔3,965億円〕

営業費用

3,825億円〔3,646億円〕

3,853億円〔3,646億円〕

営業利益

76億円〔314億円〕

82億円〔318億円〕

営業収益には道路資産完成高、営業費用には道路資産完成原価(ともに当期は367億円)を含んでいます。

〔 〕書きは昨年度中間期の数字。但し、<連結ベース>については、昨期が未だグループ会社再編の途中であったため、対象となる会社数が異なっています。

4. SA・PA事業は連結では増収となりました。

【関連事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

1 8 8 億円〔310億円〕

2 5 6 億円〔360億円〕

営業費用

1 6 7 億円〔283億円〕

2 2 0 億円〔315億円〕

営業利益

2 1 億円〔27億円〕

3 5 億円〔44億円〕

【うちSA・PA事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

5 4 億円〔56億円〕

1 2 2 億円〔106億円〕

営業費用

3 2 億円〔30億円〕

8 5 億円〔62億円〕

営業利益

2 2 億円〔26億円〕

3 6 億円〔44億円〕

SA・PAはサービスエリア・パーキングエリアの略。〔〕書きは昨年度中間期の数字。

関連事業には、SA・PA事業のほか、国や地方公共団体からの受託事業その他関連事業を含んでいます。

5. 経営状況の総括

【全事業】

< 単体ベース >

< 連結ベース >

営業収益	営業費用	4,090億円 〔4,271億円〕	3,993億円 〔3,929億円〕	4,179億円 〔4,323億円〕	4,060億円 〔3,960億円〕		
営業利益	道路事業	97億円 〔341億円〕	76億円 〔314億円〕	21億円 〔27億円〕	118億円 〔363億円〕	82億円 〔318億円〕	35億円 〔44億円〕
経常利益		105億円〔344億円〕		134億円〔372億円〕			
中間純利益		56億円〔194億円〕		75億円〔213億円〕			

連結ベースの営業収益及び営業費用は、P3、P4の各部門の数字を合計したものから、セグメント間の取引として13億円分を消去したものですので、単純な合計額とは一致しません。

営業収益には道路資産完成高、営業費用には道路資産完成原価(ともに当期は367億円)を含んでいます。

()書きは昨年度中間期の数字。但し、< 連結ベース > については、昨期が未だグループ会社再編の途中であったため、対象となる会社数が異なっています。

6. 資産・負債の構造



<単体ベース>

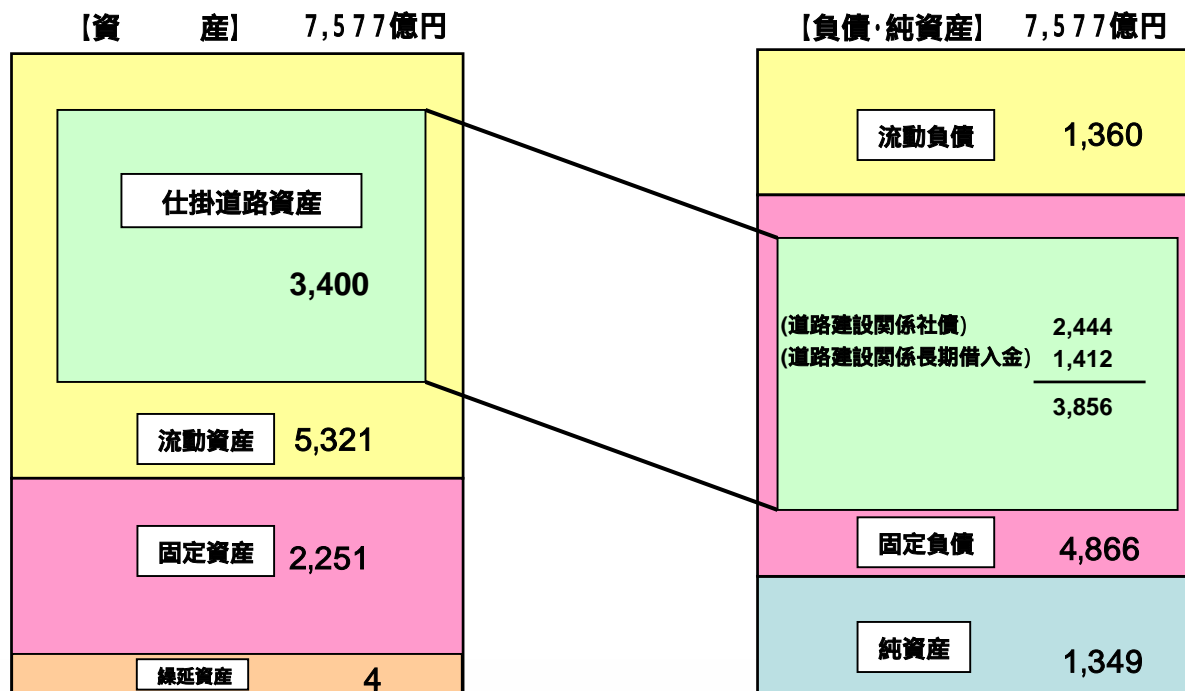
道路の建設を、着実に進めています。

▶ 仕掛道路資産(建設中の道路)は、前期末より378億円増加しています。

▶ 道路建設のための固定負債が、仕掛道路資産に対応しています。

▶ 当期に完成した道路資産367億円を機構^{*}へ引渡しています。

* 独立行政法人
日本高速道路保有・債務返済機構



7. 連結対象の子会社・関連会社について

グループ経営の確立に向けて、これまでグループ企業の形成を進めてきました。子会社18社・関連会社6社と一体となって連結企業価値の向上を目指します。

■連結子会社

18社

下線は当期に加わった会社

【連結子会社】

- ◇(株)ネクスコ・トール東北
- ◇(株)ネクスコ・トール関東
- ◇(株)ネクスコ・トール北関東
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング北海道
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング東北
- ◇(株)ネクスコ東日本エンジニアリング
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス北海道
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス東北
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス関東
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス新潟
- ◇(株)ネクスコ東日本パトロール
- ◇(株)E-NEXCOパトロール
- ◇(株)ネクスコ・サポート北海道
- ◇(株)ネクスコ東日本トラスティ
- ◇ネクセリア東日本(株)
- ◇(株)ネクスコ東日本エリアサポート
- ◇(株)ネクスコ東日本リテイル

■持分法適用関連会社

6社

下線は当期に加わった会社

【持分法適用関連会社】

- ◇(株)NEXCOシステムズ
- ◇(株)高速道路総合技術研究所
- ◇東京湾横断道路(株)
- ◇東北高速道路ターミナル(株)
- ◇(株)NEXCO保険サービス
- ◇ハイウェイ・トール・システム(株)

*ネクスコ・トール とは、料金収受業務を担う会社の名称。

*ネクスコ・エンジニアリング とは、保全点検業務を担う会社の名称。

*ネクスコ・メンテナンス とは、維持修繕業務を担う会社の名称。

8. 年度損益の見通しについて

◇ 2008年度は単体で15億円、連結で39億円の利益を見込んでいます。

• 高速道路事業の営業利益は当中間期に76億円を計上しましたが、通期では3億円に下がると予想しています。これは冬期における交通確保のための雪氷対策等及び維持修繕関係の工事の多くが下半期に完成することにより、費用は下半期の方が多く出る反面、夏期の方が天候や長期休暇の関係で料金収入が多く、収益は上半期の方が多く出ることにより、

	(単位：億円)	単体ベース	連結ベース
【高速道路事業】	営業収益	8,151	8,151
	営業利益	3	3
【関連事業】	営業収益	558	722
	営業利益	16	34
【全事業】	営業収益	8,709	8,873
	営業利益	19	38
	経常利益	28	67
	当期純利益	15	39

2008年度の見込みは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要素により、上記の見込値と異なる可能性があることをご承知おき下さい。

個別貸借対照表、損益計算書(要約版)

NEXCO

[資料 - 1]

【貸借対照表】

(単位 億円・切捨)

区分	金額	区分	金額
仕掛道路資産	3,400	未払金	736
その他の流動資産	1,920	その他の流動負債	624
(流動資産計)	5,321	(流動負債計)	1,360
有形固定資産	2,013	道路建設関係社債	2,444
無形固定資産	55	道路建設関係長期借入金	1,412
投資その他の資産	182	その他の固定負債	1,009
(固定資産計)	2,251	(固定負債計)	4,866
(繰延資産計)	4	(負債合計)	6,227
		資本金	525
		資本剰余金	587
		利益剰余金	237
		(純資産合計)	1,349
(資産合計)	7,577	(負債純資産合計)	7,577

【損益計算書】

(単位 億円・切捨)

区分	金額
料金収入等	3,533
道路資産完成高	367
道路資産賃借料	2,711
管理費用	745
道路資産完成原価	367
高速道路事業営業利益	76
関連事業収益	188
関連事業費用	167
関連事業営業利益	21
(営業利益)	97
営業外収益	12
営業外費用	4
(経常利益)	105
特別利益	-
特別損失	0
(税引前当期純利益)	104
法人税等	48
(当期純利益)	56

連結貸借対照表、損益計算書(要約版)

NEXCO

[資料 - 2]

【連結貸借対照表】

(単位 億円・切捨)

区分	金額	区分	金額
仕掛道路資産	3,396	未払金	695
その他の流動資産	1,992	その他の流動負債	580
(流動資産計)	5,389	(流動負債計)	1,276
有形固定資産	2,051	道路建設関係社債	2,444
無形固定資産	60	道路建設関係長期借入金	1,412
投資その他の資産	219	その他の固定負債	1,150
(固定資産計)	2,331	(固定負債計)	5,007
(繰延資産計)	4	(負債合計)	6,283
		資本金	525
		資本剰余金	587
		利益剰余金	329
		少数株主持分	0
		(純資産合計)	1,442
(資産合計)	7,725	(負債純資産合計)	7,725

【連結損益計算書】

(単位 億円・切捨)

区分	金額
高速道路事業	
営業収益	3,936
営業利益	82
関連事業	
営業収益	256
営業利益	35
消去又は全社	
営業収益	-13
営業利益	-0
全事業	
営業収益	4,179
営業利益	118
営業外収益	20
営業外費用	4
(経常利益)	134
特別利益	3
特別損失	0
(税引前当期純利益)	137
法人税等(法人税等調整額を含む)	62
少数株主損失	0
(当期純利益)	75